

[HOME](#) \ [研究助成公募](#)

研究助成公募

GRANTS

2026年度 研究助成応募要領

1.対象

日本国内の大学・研究所等に所属する研究者または、学識があると認められる個人・グループに対して、その研究内容に関して助成します。

2.研究分野

研究分野は風水力・流体機械、環境・エネルギー・バイオマス、半導体製造装置及びプロセスです。

3.助成金額

研究1件当たり70万円、9件の助成を基準としますが、具体的には研究内容及び資金の状況等を勘案して決定します。

5.募集方法（申請書提出）

申請書に必要事項を記入して、pdfをメールで提出してください。送信先アドレス h.zaidan@ebara.com

*郵送の必要はありません

当財団の個人情報保護全般に関する方針は、[こちら](#) をご覧ください。

6.選考方法

各分野の学識経験者、専門家による財団の推薦委員会で選考し、その推薦に基づいて理事会で決定します。

7.選考結果

2026年6月上旬決定予定。結果については助成対象者を当財団のホームページに掲載します。

8.注意事項等

- 助成を受けるものは、グループあるいは個人を問いませんが、原則として大学の理・工学部長、研究所の所長またはこれらに準ずる責任者の推薦によります。
- 助成の対象は工学一般にわたる研究課題とし、およそ1～2か年で一応の成果を挙げ得る見込みのあるものとします。
- 助成を受けたものは、当該年度末までにその研究活動結果と助成金収支の報告書を当財団に提出するものとします。なお、当該年度内に完了しない場合は、年度末に中間報告を行い、完了時に改めて最終報告をして頂きます。
- 研究活動結果の報告書については、当財団のホームページにて公表いたします。

9.事務局

10.申請書

申請書は問合せ先まで電子メールにてご請求ください。ワードファイルを送信します。

11.助成金の使途

助成対象研究者（以下「研究者」という）の所属組織（以下「組織」という）は、当財団からの助成金の全額を研究者へ渡し、研究者が、申請した研究テーマの範囲内で、その研究目的の為に自分の裁量で自由に使うことを基本方針としています。

助成金の使途目的が限定されている点も鑑み、組織が下記を理解していることを予め確認し応募して下さい。

1. 組織は、助成金に対して管理費（所謂オーバーヘッド）を課さない。
2. 研究者が異動の場合、研究テーマに変更なければ、研究者が助成金を異動先に持ってゆくことを組織は承諾する。
3. 組織は、使途目的以外に助成金を使わない。
4. 何らかの理由や事情で研究者が研究を継続できなくなった時は、助成金の扱いについて組織と財団は協議する。

[研究助成対象者及び研究活動結果の報告書](#)

[TOPへ戻る](#)

[財団概要](#)

[役員・評議員](#)

[研究助成公募](#)

[お知らせ](#)

[文字サイズ](#)

小

中

大

[JA](#) [EN](#)